



左：伊藤若冲「旭日鳳凰図」、右：円山応挙「牡丹孔雀図」より構成

受講料・入会金の改定のお知らせ（全文掲載）

受講生の皆さまにおかれましては、日ごろより、かわさき市民アカデミー事業へ温かいご支援をいただき感謝申し上げます。

かわさき市民アカデミーの受講料は、2011年度に講座1回分1,000円を基準とするよう改定して以来、（3回の消費税増税分の上乗せを除き）、10年間据え置いてまいりました。この間2019年度までは諸経費の増大と、ここ最近の新規受講生の伸び悩みでの収入減はあったものの、事業運営に努力を重ねて赤字幅を最小限に抑え何とか凌いでまいりました。しかし、2020年度はコロナ禍の影響で前期は中止、後期は受講生数が対前期比80%と大幅減で大きな赤字の見込みとなり、事業運営は危機的状況にあります。

今後も安定した事業の継続を図っていくために、2021年度から別表のとおり受講料・入会金を改定させていただきます。

受講生の皆さまには、大きなご負担をお願いすることになり、心苦しく思いますが、かわさき市民アカデミーのおかれた実状にご理解をいただき、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

かわさき市民アカデミーの事業概況

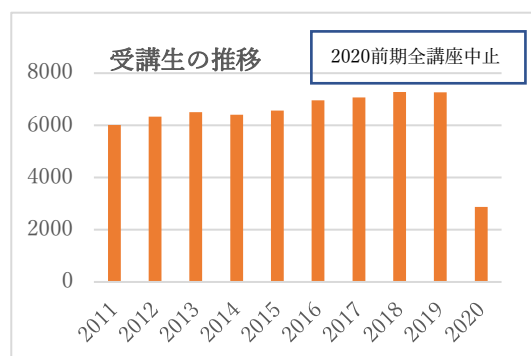
1. 過年度（2015～2019年度）の経常的収支の悪化

新規受講生数が伸び悩み、今後もその傾向が続くと見込まれましたが、質の高い講座を維持しつつ、引き続き受講料を据え置いて参りました。その中で、より一層継続的で安定した講座の運営を目指すための様々な諸経費増がある一方で、寄附、助成金などでの収入増、一般経費の縮減などを図りながら、ぎりぎりの運営を行ってきました。この結果、2015～2019年度の5年間の収支は2019年度に190万円のマイナスがあり、累計が90万円のマイナスとなりました。

上記のような事業状況を改善するため、2021年度より新たな事業環境（受講料や入会金の見直し）を展開すべく準備を開始していたところです。

2. 2020年度のコロナ禍による大幅な赤字

コロナ禍により、2020年度の前期は全講座を中止せざるを得なく前期収入がゼロとなった上、中止に伴った入会金の返金、臨時のお知らせ等の郵送料の支出なども加わりました。後期はコロナ禍に合わせたオンライン講座も取り入れながら何とか開講しましたが、前期受講予定だった受講生の約20%の方々が受講を休止され、2020年度の事業収支が極めて厳しい状況になりました。



受講生の皆さまへは寄附金のお願い、公的機関へは支援金の要請などを行ってきたため、事業継続の厳しさは幾分か和らぎましたが、2020年度の収支は大幅な赤字が避けられず、これまでの事業展開で保持してきた繰越金で補填することになりました。2021年度以降も現状が続くようであれば、かわさき市民アカデミーの事業存続は困難になると考えられます。

以上のことから年度の収支を安定させ、且つ赤字補填のため取り崩した繰越金を安定的事業運営に必要な金額まで回復させるため、受講料・入会金30%増の改定を行うことといたしました。

今後、皆さまのご協力をいただきながら、各種施策による改善・効率化を図り、事業の安定化を目指してまいります。

なにとぞ、かわさき市民アカデミーの実状と受講料・入会金の改定の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

受講料新旧対比表(代表例:12回講座) ※金額は消費税を含みません

種別	対象	現行(円)	改定(円)
入会金	二年会員	12,000	15,600
	一年会員	7,000	9,100
受講料	二年会員	8,000	10,400
	一年会員	9,000	11,700
	聴講生	12,000	15,600

※新旧対比表の詳細は、受講料・入会金の改定のお知らせをご一読ください

☆2020年10月度 理事会開催 —10月27日(火)

1) 主な審議事項

- 受講料の改定案について
詳細は配布中の受講料改定お知らせをお読みください。
- 事務局アシスタントの採用
オンライン講座のアシストを中心に短期の人材採用を検討している。

2) 主な報告事項

- 寄附金の状況報告
個人、団体、賛助会員、受講料返金時の寄附金合計が900万円となった。(11/6)



ご寄附のお礼とお願い



このたびは、私どもの呼びかけに、個人、団体、賛助会員、受講料返金時のご寄附と皆さまから、**900万円を越す**(11/6)多額のご寄附と数々の励ましのお言葉をいただきました。

これもひとえに皆さまのお力添えのお陰と感謝申し上げます。いただきました寄附金は、新型コロナウイルス感染防止対策、講座充実のための機器の購入等に活用させていただく所存です。

皆さまのお陰で、ひとまずは存続の危機を乗り越える目処がつかしました。しかし、新型コロナウイルスの影響がしばらく続くものと思われ、気を許せない財務状況となっております。皆さまには引き続き、存続のためのご支援を賜りたく何卒、よろしくお願い申し上げます。

☆コロナに負けない!



Covid 19

Covid 19

Covid 19

映像で訪ねる「立花神社と影向寺をめぐる」と
「小杉御殿・稲毛庄の故地を歩く」に取り組んで
川崎学歴史コーディネーター 中西望介

新型コロナ感染拡大予防のために川崎学歴史では、これまで取り入れていた野外学習を学習プラザでの座学に切り替えて、映像による講座に取り組んだ。野外学習とは全く違う準備が必要であった。現地を歩く野外学習では、参加者の一人一人が五感を使い現地の雰囲気を感じることが出来る。しかし、映像では「地形の起伏 眺望 植物 道 建築物 石造物」など現場の持っている情報量を、限られたコマ数の映像で伝えなければならない。また、見学コースを細かく表示してどの

場所の映像なのか分かるような地図作りが必要である。「立花神社と影向寺をめぐる」では影向寺の仏像・絵馬などの映像は小池汪氏の写真や『影向寺文化財総合調査報告書』などをお借りした。

「小杉御殿・稲毛庄の故地を歩く」では稲毛庄の広さを映像で理解してもらうために、無理を言って世話人の熊崎さんがお住いの高層マンションの屋上から、これまた無理を言ってカメラ撮影の専門家である藤野さんに撮影してもらった。共同報告者の菱沼一憲さんとは稲毛庄への灌漑用水取入れ口を探して溝口～下作延～久地をまる一日かけて調査した。このように多くの方々のお力を借りて映像を作り講座が出来た次第です。改めるべき課題はあるが良い挑戦になりました。

オンラインホストを担って



世話人 北川 英樹
エクセレントⅠ・Ⅱ・Ⅲ講座会場でのホスト役を担当しています。アカデミー初のオンライン講座開始当初は、ネット通信環境の

不安定さなどから問題も生じましたが、その後事務局の対応策・尽力によりほぼ順調にしています。使い勝手の良いビデオ会議アプリ zoom ですが、事務局からの“受講のてびき”そして事前の講座体験イベントが、スムーズな受講へ功を奏した

と思います。

久しく聞かれたデジタル・ディバイド(情報格差)問題は当然あるでしょうが、近年の世代を超えたスマートフォンの普及拡大故か、あまり話題になっていないようです。最近ではスマホの高機能性と利便性からスマホネイティブと呼ばれる若者のパソコン離れが問題視される、との報道も。

今回、zoom もそうですが新しいソフトを入れるにあたり、パソコンやスマホのバージョンアップが必要となり、個人的には良い機会となりました。利便性を求める限り、情報通信機器のトレンドに合わせるより手は無さそうです。

中原市民館ホールなどの教室開拓

事務局 大宮司祐美

事務局員は5月までの事務局閉室によって、後期開講に向けそれぞれ各会場等の情報交換をしながら模索していました。どの会場も定員を半分にしないといけないことも頭を悩ませました。

他会場は、すでに1年前から会場予約が始まっており、登壇をお引き受けいただいた先生方とのスケジュール調整もありました。

特に、高津・麻生市民館、ミュージア川崎は、会場の方針に従わなくてはならず、高津市民館の美術Ⅰは、泣く泣く抽選する結果となってしまい

ました。

今期は打開策として、時間や曜日・会場の変更があり受講されるみなさまにはご迷惑をおかけしてしまいましたが、抽選を回避できた講座もあります。ミュージア川崎の市民交流室の音楽Ⅲは、音響がミュージアよりは劣りますが、同じ川崎駅にある川崎市産業振興会館に変更することによって、楽団の演奏者と受講生の安全も確保して受講希望者全員が受講いただけることができ、日本史講座も中原市民館に変更し、多くの方々を受講いただいています。





🔔 2021年度前期 受講生募集を1月開始します！

○ 受講申込み期間 1月15日（金）～2月26日（金）

※ 定員に満たない場合は、先着順で追加募集します。

（ホームページでは16日から受け付けます。）

2021年度前期募集に向け、鋭意「講座のご案内」パンフレットを作成中です。
コーディネーターの先生方を中心に、世話人の皆さまや事務局の協力のもと、
53講座・ワークショップを準備しています。

☆ 新型コロナウイルス感染症対策として導入した「対面+オンライン講座」は27講座・ワークショップを予定しています。

* ほかに、「連携（アジア航測）」は、会場ではなくご自宅でのオンライン受講となります。

☆ 「宮前」「新しい科学の世界Ⅱ」「子育て支援」の3講座は休止します。

☆ 「受講説明会」を開催します ー是非、お友だちやお仲間をご紹介くださいー

場所	月/日	時間	定員
川崎市生涯学習プラザ	2月10日（水）	14:00～15:30	70名
川崎市生涯学習プラザ	2月15日（月）	14:00～15:30	70名

☆ 紹介制度をご活用ください

2020年度後期現在のアカデミー受講生が、新たにご友人やご家族などアカデミーの受講を希望されている方をご紹介いただき、その方が、2021年度前期講座を申込み頂いた場合に、受講料納入の確認後、各講座が開講してからご紹介者と紹介された新規受講生それぞれに記念品を差し上げます。短期集中講座、子育て支援講座、連携講座、地域協働講座は対象になりません。

紹介制度案内・記入用紙はホームページからもダウンロード出来ます。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの日常生活を大きく変え、アカデミーでも、前期全講座中止となり大きな危機に直面しました。

テレビでは、お客さまの足が遠のき、やむなく廃業とのニュースが流れていますが、皆さまの「学びたい」、「アカデミーの持続を」との思いが、後期再開の原動力になったと思っています。

皆さまの「アカデミーを思う気持ち」に感謝し、これからも忘れず、大事にしてゆきたいと思えます。
編集委員 K.O.

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会
編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41
川崎市生涯学習プラザ 3F
電話：044-733-5590
FAX：044-722-5761
問合せメールアドレス：
info@npoacademy.jp
ホームページ：
http://npoacademy.jp/